作曲】遠藤芳晴

すぎて行く時間 痛みまぶたの先のまつ毛目を凝らして見てもどんなに近くでも 貝 痛み苦しむ心つ毛のをつなぐ空気でも、何もわからず途方に暮れるも、見えないものがある

見えないものが見えてくるよ知ればまさに名と僕の中にあること*空にのぼる太陽もまた

心の太陽あらわそうよ何をしているならー人じゃないこと

星の落ちる音。叫びアリの愛の歌や。などんなに近くでも 叫び震える心や 花の開く音 何もわからず途方に暮れるでも 聞けないものがある

喜びの歌の意味を知るよそして君はの中に耐えるヒバリは一

心の太陽あらわそうよ何をしてもいいから感じているなら

* 繰り返し

0/5

命をつなぐ空気がののので すぎて 見えな 途方に暮れる 何もわからず を疑られたが み苦 なに近くでも ん の 先 も ご時 0 のまつ毛 見て があ 気 る

見えて 空にのぼ 君 ればまさに え مل な 僕 しり 0 < も 中にあること る太陽もまた る (T)

感 じ 7 や 61 To the second るなら いこと

何 の太陽あられたしてもい 包 わそうよ から

تل なに近くでも の太陽あらわそう

何もわ 聞 途方に暮れ ア 耳をすまし けないも IJ の 愛 からず う 歌 る $\overline{\mathcal{O}}$ がある も

里 び 震 える 心 音

花

開

く音

嵐の そや が かて金の太陽を見るの中に耐えるとバリ う 歌 て 君 の意味を知るよ

感 いこと

何 心をしているないにかった。 わそうよ から

感 見えな 空にのぼ 見え 君 何 **(3)** لح ればまさに の太陽あら 僕 7 **"** 3 ても や しり \hat{O} いるなら B な る太陽もまた 中にあること る $\widetilde{\mathcal{O}}$ わそうよ か